

1

えどがわエコセンターの歩み



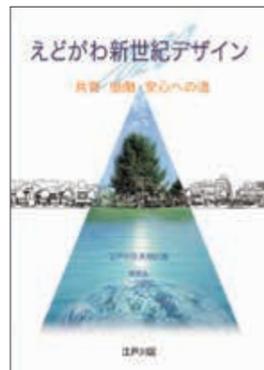
設立の経緯

江戸川区は現在68万区民を擁し、区名の由来となった江戸川と荒川の2大河川をはじめ多くの河川や親水公園、また自然の海もある豊かな環境に恵まれた都市です。

環境の悪化と環境をよくする運動

江戸川区はかつて田園風景が広がる緑あふれる地域でしたが、昭和30年代後半からの高度経済成長に伴い都市化の波に洗われました。中小河川は汚れ緑も減り、特に昭和40年代に入ると、3大公害との戦いが始まりました。葛西地域へのごみの不法投棄、羽田空港B滑走路の開設による航空機騒音問題、さらに成田新幹線通過問題も起こり、生活環境を脅かす環境問題が次々と起こりました。

こうした中、江戸川区は町会・自治会を中心に区民と一体となって「環境をよくする運動」を進め、大きな成果をあげました。この運動はその時々の環境問題に果敢に挑戦し、今日まで続いており、力強いコミュニティを生み出しています。



江戸川区長期計画



意見交換会

地球環境問題

一方、現在は公害問題に変わり地球温暖化の問題が深刻さを増しています。世界各地で頻発する集中豪雨、干ばつ、大型台風などの異常気象は地球温暖化の影響によることは否めません。IPCCの最新の報告では、温暖化の原因は人類の活動によることがより明確にされました。今を生きる私たちは、将来の世代に豊かな環境を引き継ぐため、一人ひとりが環境づくりに真っ向から取り組んでいかなければなりません。

えどがわエコセンターの設立

江戸川区では平成14年に新たな長期計画が策定されました。この中で、地球環境を守り地域環境を良くするには、一人ひとりが環境にやさしいライフスタイルに転換していく必要性が示されました。その考えを実践するため、区民、事業者、行政が対等な立場で連携し、協働するという新しいパートナー

シップが求められました。

このことから環境の専門家、区民、事業者、環境団体、行政で構成する検討委員会を立ち上げ約7か月にわたり活発に意見を交換しました。この間、アンケート調査を区民2000人、事業者500事業所を対象に実施するとともに、講演会や区民意見交換会を開催しました。その結果、オール江戸川で地域の様々な方たちが参加するNPOの形で新たな環境づくりに取り組んでいくことになりました。また、イメージキャラクターの募集には全国から673点の応募があり、現在のエコちゃんキャラクターが最優秀賞に選ばれました。

こうした取り組みを経て、平成16年3月には都知事からNPO法人としての認証がおりました。翌4月に、我が国の環境分野の第一人者である岡島成行氏を理事長（現会長）に迎え、いよいよNPO法人えどがわエコセンターが誕生しました。その運営には、区民、事業者、環境団体、商店、町会・自治会、学校、行政など様々な立場の人たちが関わっていくこ



イメージキャラクターの選考



とになりました。開設式典では当時の環境省大臣官房審議官から、このような取り組みは全国的にもあまり例がなく、大変期待をしているとのコメントを頂きました。

エコセンターでは目指す方向性として「環境生活力」をキーワードにしました。これは、「環境に負荷をかけずに豊かな暮らしを実現できる力や自然の中で遊び生きる力など」を総称したものです。エコセンターをフィールドとして、既存の枠組みを超えた新しい連携や協働が生まれます。

江戸川区という地域社会を舞台に、世代を超えて多くの人々が環境に貢献する活動を繰り広げ、「日本一のエコタウン」の実現を目指して取り組みが始まりました。

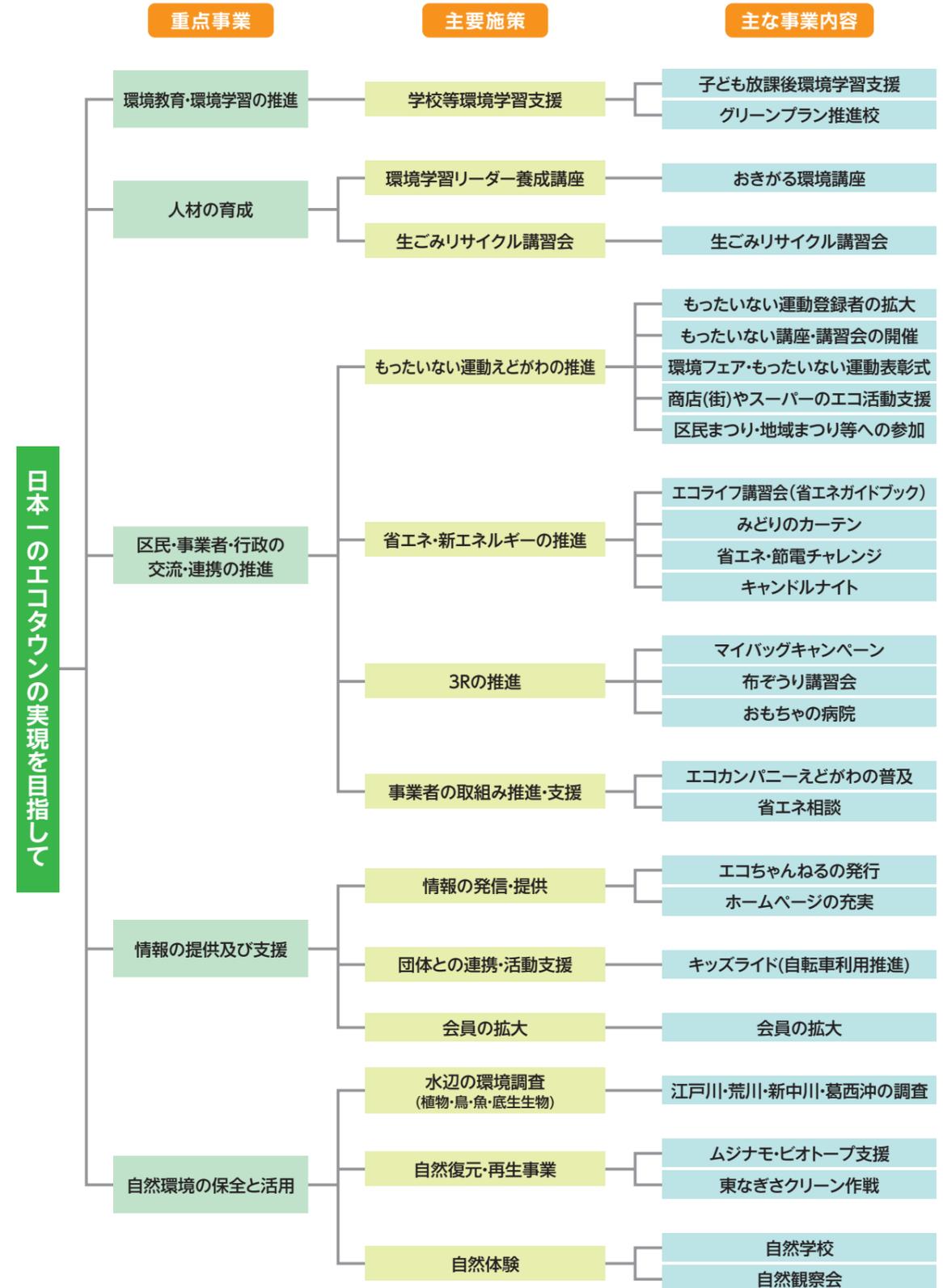


エコセンター開設式典

“共育・協働”で【日本一のエコタウン】を目指して えどがわエコセンターの取り組み



事業体系



10年間の主な出来事【年表】

2004年 平成16年	4月1日	NPO法人えどがわエコセンター設立	
	5月	水辺環境調査(受託事業)スタート	
	10月	おきがる環境講座・ 生ごみリサイクル講習会 (受託事業)スタート	
2005年 平成17年	4月	グリーンプラン推進校スタート	
	12月	えどがわ環境マンガ展開催	
2006年 平成18年	4月	「もったいない運動えどがわ」スタート ※「もったいない運動えどがわ」参加登録者10,000人	
	8月	第13回コカ・コーラ環境教育賞受賞	
	9月	「エコカンパニーえどがわ」スタート 江戸川区版環境マネジメント制度	
			「エコカンパニーえどがわ」 表示板
2007年 平成19年	3月	第1回もったいない運動えどがわ区民大会(記念講演: 講師 神田紫)	
	4月	エコセンター事務所移転(グリーンパレスタワーホール船堀)	
	4月	えどがわ油田開発プロジェクトスタート (農水省バイオ燃料地域利用モデル実証事業) 廃食用油を燃料に活用	
	11月	キッズ・マイバッグコンクール開催	
2008年 平成20年	3月	第2回もったいない運動えどがわ区民大会(記念講演: 作家・ナチュラリスト C.W.ニコル) ※「もったいない運動えどがわ」参加登録者72,000人達成	
	7~12月	区内9商店街とエコ活動でコラボ	
	9月	鶴岡自然学校 友好都市鶴岡市との交流始まる えどがわ油田開発プロジェクト 通算の回収量153,956ℓ	
2009年 平成21年	2月	平成20年度「循環・共生・参加まちづくり」で環境大臣表彰受賞	
	3月	第3回もったいない運動えどがわ区民大会 (記念講演: 江戸川総合人生大学学長 北野大)	
	5月	おもちゃの病院開設	
	6月	太陽光エネルギー利用講習会スタート	

2010年 平成22年	3月	第4回もったいない運動えどがわ区民大会 (記念講演: オカリナ奏者 宗次郎)	
	4月	「みどりのカーテン」事業スタート	
	9月	お月見キャンドルナイト開催	
2011年 平成23年	3月	エコセンター作成「水と私たち」を活用した 出前授業の実施(新学習指導要領に準拠)	
	3月	第5回もったいない運動えどがわ区民大会	
	3月	東日本大震災により春のイベント中止	
2012年 平成24年	3月	江戸川区小中学生マイバッグコンクール開催 5,200人参加	
	6月	省エネ・節電チャレンジ スタート	
	6月	第6回もったいない運動えどがわ区民大会 (環境フェアと同時開催)	
			省エネ・節電 チャレンジ
2013年 平成25年	4月	ホームページリニューアル	
	6月	第7回もったいない運動えどがわ区民大会	
	11月	作家 椎名誠講演会	
	12月	「地球温暖化防止活動」で 環境大臣表彰受賞	
2014年 平成26年	5月	10周年記念講演会 (歌手・大学教授 山本コウタロー)	
	6月	すすくすくスクールでの環境学習が拡大	
	6月	環境フェア (もったいない運動えどがわ区民大会は 環境フェアに統一)	
	11月	エコカンパニー対象に講演会実施 (経済アナリスト 森永卓郎)	
	11月	「もったいない運動えどがわ」参加登録者100,000人達成	

10年間の主な出来事

えどがわエコセンター開設式典

(2004年3月24日)

江戸川区民センター（グリーンパレス）にて、えどがわエコセンター開設式典が行われました。式典では、元環境省大臣官房審議官の小林光氏をはじめ、多くの皆さんにお集まりいただきました。



水辺環境調査

(2004年～)

江戸川・荒川・新中川、葛西沖の東なぎさにおける動植物のモニタリング調査を、江戸川区から委託を受けて実施しています。



おきがる環境講座

(2004年～)

「環境学習リーダー養成講座」がスタートしました。2008年より、現在の「おきがる環境講座」に名称が変わりました。



グリーンプラン推進校

(2005年～)

グリーンプラン推進校は、2004年度より環境省と文部科学省でスタートした「環境教育推進グリーンプラン」の江戸川区版として、2005年よりスタートをしました。



もったいない運動えどがわ区民大会

(2007年～)

もったいない運動えどがわ区民大会において、すぐれた取り組みに対し、表彰及び発表を行いました。現在は、環境フェアと同時開催する環境をよくする運動中央大会の中で表彰をしています。



油田開発プロジェクト

(2007年～2008年)

新エネルギーの地域利用を進めるため、農水省のバイオ燃料モデル事業としてスタートしました。使用済みの食用油を収集・精製し、バイオ燃料として活用する取り組みを企業や行政と連携して行いました。



21世紀子ども放課後環境教育

(2008年～)

放課後のすくすくスクールで、次代を担う子どもたちを対象に、キットを使用して楽しみながら環境問題について学んでもらう出前授業を行っています。



鶴岡自然学校

(2008年～2010年)

江戸川区の友好都市である鶴岡市との交流を深めるとともに、子ども達の健全育成を目指してスタートしました。農家体験、登山、キャンプ等、鶴岡市の自然を体感しました。



10年間の主な出来事

「みどりのカーテン」モニター事業

(2010年～)

身近な暮らしの中から地球温暖化を防止する活動としてスタートしました。講習会開催後ゴーヤを実際に育ててもらい、「みどりのカーテン」を広めています。



江戸川区小中学生 マイバッグコンクール表彰式

(2012年)

全小中学校を対象としたマイバッグコンクールには、5,140点の応募がありました。表彰式には生徒や父兄など、およそ1,000人が参加しました。



地球温暖化防止活動 環境大臣表彰受賞

(2013年12月4日)

えどがわエコセンターの10年に及ぶ環境教育や人材育成の活動が評価され、石原環境大臣より表彰を受けました。



設立10周年記念 「山本コウタロー講演会&ミニライブ」

(2014年5月31日)

第11回通常総会終了後、タワーホール船堀に於いて山本コウタローによる環境をテーマとした講演会を開催しました。



えどがわエコセンターの これからの10年へ向けて

えどがわエコセンターがスタートして10年、この間地域の皆さんと取り組んできた環境づくりは着実に広がりを見せています。次の10年に向けた課題や展望をアンケート結果などを参考にまとめました。

(アンケート結果は資料編に掲載)



2005.えどがわ環境漫画展より

地球温暖化防止で持続可能な社会へ

集中豪雨や大型台風など、地球温暖化の影響とみられる異常気象が深刻さを増しています。江戸川区の温室効果ガスを減らすため、区民、事業者、行政が連携・協働した取り組みを一層進めていきます。

また、江戸川区や他自治体、NPO、企業などと連携し、コミュニティファンド、エコポイント、カーボンオフセットなど新たな仕組みも検討していきます。

3Rによる循環型社会へ

これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄という社会経済システムから、環境に負荷をかけない循環型社会を目指して、「もったいない」の心で3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを進めていきます。

マイバッグキャンペーンや生ごみリサイクル講習会をはじめ各種リユース・リサイクル講座の他、江戸川区と連携して都市鉱山といわれる小型家電のリサイクルなど新たな仕組みづくりにも取り組んでいきます。



2005.えどがわ環境漫画展より



水と緑あふれる自然環境へ

緑や河川・海に恵まれた自然豊かな江戸川区の環境を次の世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの使命です。

このため、水辺での動植物のモニタリング調査をはじめ自然復元や絶滅危惧種の再生活動など生物多様性の保全活動を行っています。また、楽しみながら自然に親しむ自然体験や観察会、さらには河川源流域での地元NPO等と連携した自然保護活動など多様な活動を行っています。

仲間づくり

環境に配慮した暮らしを広めるための「人づくり」、「仲間づくり」、「場づくり」を積極的に進めています。

人材育成ではおきがる環境講座の内容を充実しさらに地域へ広めていきます。また、高校生から子育て世代まで若者世代の人材育成のため学校、共育プラザ、企業とも連携しプログラム開発や支援を行っています。

環境教育では教育委員会と連携し、グリーンプラン推進校を全小中学校に拡げるとともに、放課後のすくすくスクールでの環境学習を広めていきます。



もったいない運動の拡大

もったいない運動えどがわの参加登録者は10万人を超えました。24年度の区民世論調査でもその認知度が5割を超え、今後は20万人を目標にさらに運動を広げていきます。

エコカンパニーえどがわでは、認知度向上のため講演会など様々な機会を通じてPRに注力するとともに企業間の交流の場や先進事例の紹介などにも取り組んでいきます。さらに、江戸川区と連携し資金融資などインセンティブが働く取り組みも進めていきます。

また、もったいない運動の優れた取り組みには、環境をよくする運動と連携し毎年表彰を行っています。

裾野を広げる活動

エコタウンづくりの裾野を広げるための活動をより一層充実していきます。

エコセンター事業や参加団体の活動の姿をよりアピールするため、パブリシティ活動を積極的に進めています。また、エコセンター活動を活性化し、多様な取り組みが行われるよう若者や子育て世代、外国人も参加できるようなプログラムづくりに取り組んでいます。

さらに、会員（団体）相互の親睦や連携を深める取り組みの他、行政、公益団体、町自治会、企業などとの更なる連携を深めています。

